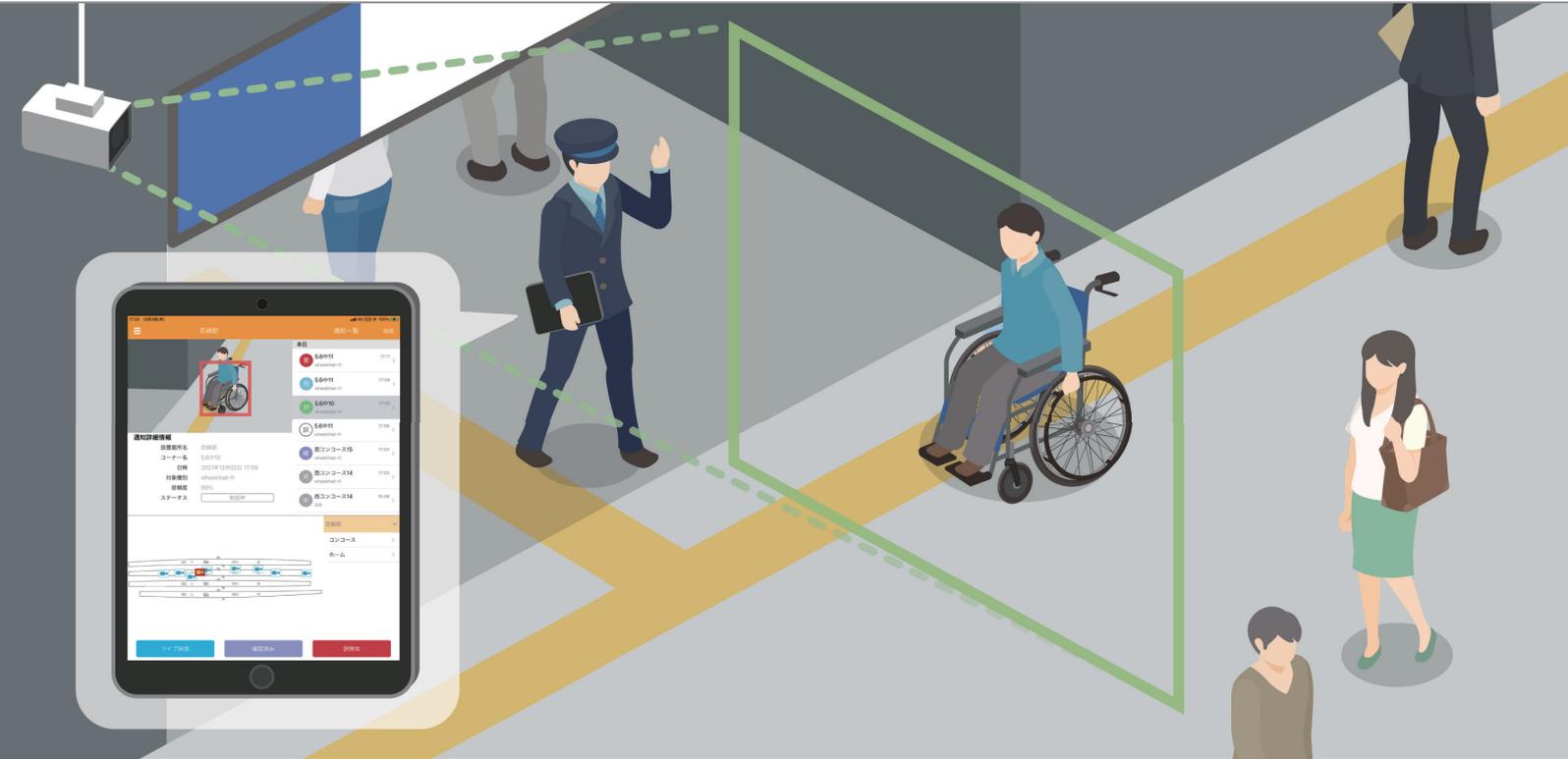


AI画像センシングシステム AISS (AI for Support System)

施設の安全・安心に貢献



「介助を必要とするお客様」や「危険な動作」が施設のIPカメラに映ると、DeepLearning (深層学習) を用いたAIが自動で検知し、係員にいち早くお知らせします。

POINT

- デフォルトで「車いす」「盲導犬」「白杖」を検出し、係員へお知らせします。
- 骨格検出機能により「ふらつき」や「侵入」を検出し、「危険な動作」をお知らせします。
- 独自のアルゴリズムにより誤検知・未検知の抑制を実現します。
- 管理端末からIPカメラのライブ映像を確認することが可能です。
- 既存のIPカメラをご利用いただくことが可能です。

(カメラの機種によっては別途カスタマイズが必要な場合があります。) ※1

【主な機能】

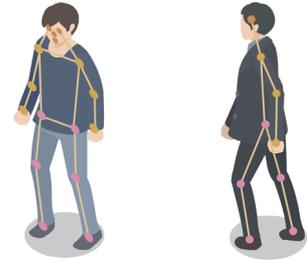
1 物体検出機能

- ・学習した対象をIPカメラの画像内から検出します。
- ・「車いす」「盲導犬」「白杖」以外の検出対象は、学習させることにより追加が可能です。*1*2



2 骨格検出機能

- ・IPカメラの画像内から、人の骨格を基に人体の検出を行います。
- ・骨格の動作から行動を認識し、「ふらつき」や「浸入」などの危険動作を検出します。



3 通知機能

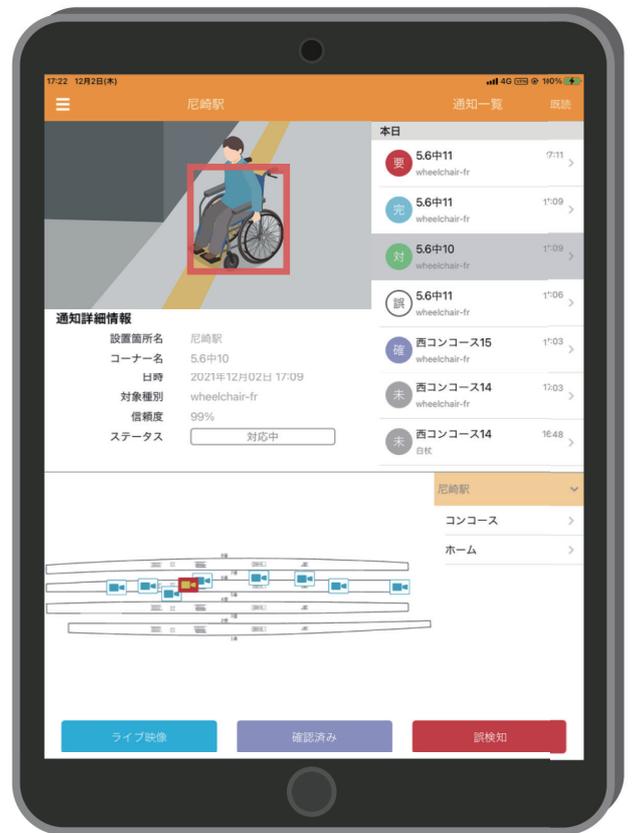
- ・物体検出機能、骨格検出機能で検出した内容を管理端末に通知を行います。
- ・検知判定及び通知判定は独自のアルゴリズムにより、未検知・誤検知を抑制しています。
- ・各判定の閾値はパラメータ設定により変更することができます。
(設置環境に適した設定が可能です。)

4 情報連携機能

- ・管理端末に通知した内容について介助の必要性、介助中などの対応状況の登録や変更が可能です。
- ・対応状況は他の端末と共有することができます。

5 マップ表示機能

- ・施設のマップを登録することで、施設のカメラ位置を管理端末で確認することができます。
- ・管理端末に通知した結果について、どのカメラで検出したかをアテンションします。
- ・カメラアイコンを選択すると該当カメラのライブ映像の確認が可能です。



*1 カスタマイズに必要な費用は別途必要となります。 *2 学習に必要な画像はご提供いただけます。
特許出願済:特願2020-69869

